

# 図書館だより

佐伯図書館 (☎24-1010)

休館日(12月) 7日、14日、21日、28日  
29日～1月4日

※休館日の本の返却は、ブックポストへ。

開館時間 佐伯図書館：9時～18時

※土日祝日は17時に閉館

視聴覚センター：9時～17時

## 佐伯図書館・視聴覚センターの催し

### 紙芝居・絵本読み聞かせ

■とき 毎週土曜日(休館日を除く) 10時～

■ところ 視聴覚センター1階 えほんワールド

※第4土曜日のみ2回開催(13時30分～)

### まぐま紙芝居

12月9日(水) 15時～

／どんぐり児童クラブ、鶴岡こどもの家

### 主な新着本(12月)の紹介

【一般書】 鉄の骨(池井戸潤)／まほろ駅前番外地(三浦しをん)／図説 英国貴族の暮らし(田中亮三)／半島へ、ふたたび(蓮池薫)／全国SA・PA道の駅ガイド2010(昭文社)／生姜力(石原結實)／気軽に手づくり! 大人シュシュ(ソフトバンク クリエイトイブ)／絶品 お好み焼き たこ焼き・もんじゃ焼き(成美堂出版)／まるごと りんごの本(下迫綾美・スズキエミ)／仏像がわかる本(双葉社)ほか

【児童書】 ふたすきなこといろいろ(ユリア ヴォリ)／なんてすてきな日(アンドレ＝ダーハン)／4ページえほん うふっ! あはっ! (高畠純)／おねえちゃんは、どこ?(スヴェン・ノルドクヴィスト)／声にだすことばえほん 初恋(かわかみたかこ)／食虫植物ふしぎ図鑑(柴田千晶)／ヴァンパイレッツ4 剣の重み(ジャスティン・ソーパー)／魔女の宅急便その6 それぞれの旅立ち(角野栄子)／高校時代にしておく50のこと(中谷彰宏)／楽しいスケート遠足(ヒルダ・ファン・ストックム) ほか

### 今月のこの1冊!

戦後という時代の節目節目で、作家は何を考え、何を取材し、何を書こうとしたのか。タイトル、登場人物の名前に込



「作家の使命 私戦後」  
山崎 豊子 著

められた深い意味とは? 小説のエピソードと現実の事件にはどんな関わりがあるのか? 「不毛地帯」「沈まぬ太陽」…その執筆秘話を明かす。

図書への寄贈ありがとうございました  
野口義隆さん、佐藤茂夫さん、西名靖子さん、長門和子さん、小葉竹紀子さん、荒牧敏雄さん

## (((12月9日(水)は「障がい者の日」です)))

《問い合わせ》  
社会福祉課障害福祉係(本庁舎1階15番窓口、☎23971)または各振興局市民サービス課



ハート・プラスマーク



障がい者のための国際シンボルマーク

障がいがある人たちが社会や地域で暮らしをいくためには、まだまだ解決しなければならぬ問題があります。

例えば、身体内部に障がいがある人は、外見から分かりにくいために誤解を受けやすく、電車の優先席や障がい者用駐車スペースを利用しにくいといったことがあります。身体内部に障がいや疾患がある人が着用する「ハート・プラスマーク」を見かけた際はご理解をお願いします(ハート・プラスマークは「ハート・プラスの会」ホームページから入手可)。

また、「障がい者のための国際シンボルマーク」は、障がいがある人が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。このマークは、すべての障がい者を対象としたもので、車椅子の障がい者に限定されるものではありません。

12月9日「障がい者の日」をきっかけに、障がいのある人、ない人が共に助けあえる社会について考えてみませんか。